

製品安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	リアルカット A・B・C
会社名	株式会社 ジーアンドティー
住所	東京都木曾町 499-1
担当者	竹内 宏
TEL	042-810-3548
緊急連絡先	090-5586-7407
使用目的	業務用

2. 危険有害性

GHS 分類

化学的危険性	火薬類	分類できない	
	可燃性/引火性ガス	分類対象外	
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分 4	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自己発火性液体	分類できない	
	自己発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類できない	
	酸化性液体	分類できない	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類できない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
		急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入)		区分外	
皮膚腐食性/刺激性		区分 3	
眼刺激性		区分 2B	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		区分 1	
生殖細胞変異原性		区分 2	
発癌性	分類できない		

	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分2（肺）
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（肺、皮膚）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境慢性有害性	区分外

GHS ラベル表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	可燃性液体。軽度の皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。遺伝性疾患の恐れ。臓器（肺）の障害の恐れ。長期に亘る、又は、反復暴露に依る臓器（肺、皮膚）の障害。
安全対策	ミスト、蒸気を吸入しないこと。換気の良い場所で使用すること。保護具を使用する。高温になる環境で使用しないこと。
応急処置	皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗うこと。吸入した場合は医師の手当てを受け、気分が悪い時は、医師に連絡をして診断を受けること。汚染された衣類は選択してから再使用すること。
保管	換気の良い場所で保管すること。容器は密閉すること。涼しい所に置くこと。
重要な兆候	胸部不快感。息切れ。咳。眼及び粘膜の刺激。皮膚の刺激、発疹。
想定される非常事態	熱、火花、炎での発火。眼の刺激。軽度の皮膚刺激。アレルギー皮膚反応の恐れ。遺伝性疾患の恐れ。臓器の障害の恐れ。

3.組成、成分情報

成分	CAS 番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
酸化アルミニウム	1344-28-1	(1) -23	(1) -23	0-20
Hydrotreated Light Paraffinic Distillate	64742-55-8			0-10
Nitritoltrienthanol	102-71-6	(2) -308	(2) -308	0-1
化学式	A12-O3(1344-28-1),C6-H15-N-O3(102-71-6),UVCB(64742-55-8)			

4.火災時の措置

消火剤	水噴霧。二酸化炭素（CO2）。耐アルコール泡。粉末。
-----	----------------------------

使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので使ってはならない。
火災時の危険有害性	加熱及び火災により有害な蒸気/ガスが生成されることが有る。
特有の消化方法	通常の消火手順を用いた後、危険が無ければ、火災区域から容器を移動させる。

5.漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急措置	流失物質に触れないようにして、風上に避難する。閉鎖された場所に入る時は事前に換気を行なう。蒸気を吸入しないように注意し、着火源を除去する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏れやこぼれを止める。
封じ込め及び浄化の方法	全ての着火源を取り除く。漏出物を廃棄した後、床を徹底的に清掃する。

6.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
換気	適切に換気する。
注意事項	取扱説明を良く読み、保護具を使用する。
安全取り扱い注意	全ての安全注意に目を通してから使用する。蒸気の吸入を避け目に入らないようにする。メガネ手袋などの保護具を使用する。
適切な保管条件	火気に注意して、涼しく、換気の良い場所に保管する。 容器を密閉して、子供の手の届かないところに保管する。
混触禁止物質	酸、塩素。
安全な容器包装	元の容器で保管する。

7.暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）及び管理濃度

日本 JSOH 許容濃度（OEL）

成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム（1344-28-1）	TWA	2m g /m ³	総粉塵
		0.5m g /m ³	呼吸性粉塵
Hydrotreated right Paraffinic distillate	TWA	3mg/m ³	ミスト
ACGIH			
成分			
Nitrioltriethanol(102-71-6)	TWA	5mg/m ³	

酸化アルミニウム	TWA	1mg/m ³	呼吸性画分
成分	タイプ	値	形状
Hydrotreated right	TWA	5mg/m ³	吸入性画分
Paraffinic distillate(6742-55-8)			
グリセロール (56-81-5)	TWA	10mg/m ³	ミスト

設備対策 一般的な良い換気を行なう必要がある。出来れば局所排気装置を利用して空中に浮遊する汚染物質を推奨値以下に抑える。

保護具

呼吸器の保護 暴露限界値を上回る環境の場合はマスクを着用する。

手の保護 手袋を着用する。

目の保護 保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護 適切な作業衣を着用する。

8.物理的及び化学的性質

外観	液体
形状	粘調性
色	A (白) B (白) C (白)
臭い	柑橘類
PH	7-9
沸点	100℃
引火点	65℃
自然発火温度	データなし
密度	1g/ml
粘度	20.5mm ² /s
VOC (重量)	11.4%

9.安定性及び反応性

安定性 高温時の発火リスク

避けるべき条件 熱、炎、火花、引火点を超える高温を避ける。

混触危険物質 強酸化剤

危険有害な分解生成物 一般的な使用条件下では危険な反応は知られていない。

10.有害性情報

成分	試験結果 (急性)
Nitrilotriethanol	経口 LD50 モルモット 5300mg/kg
	経口 LD50 ラット 8g/kg

	経皮 LD50	ウサギ	20000mg/kg
成分	試験結果 (急性)		
酸化アルミニウム	吸入 LC50	1000mg/14 時間	
	経口 LC50	5000mg/kg	
	経皮 LC50	5000mg/kg	
皮膚腐食性/刺激性	長時間又は繰り返しの接触は皮膚を乾燥させる。		
目に対する損傷性/刺激性	目の刺激		
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。		
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患の恐れのない。		
発癌性	データなし。		
ACGIH 発癌性物質			
酸化アルミニウム (CAS1344-28-1)	A4 ヒトへの発癌性を分類できない。		
Hydrotreated right paraffinic (CAS64742-55-8)	A2 ヒトに発癌性の疑いあり。		
	A4 ヒトへの発癌性を分類できない。		
IARC 発癌性評価モノグラフ			
Nitorillotriethanol(CAS102-71-6)	3 ヒトへの発癌性を分類できない。		
NTP 発癌性物質レポート			
Hydrotreated right paraffinic Distillate(CAS64742-55-8)			
生殖毒性	データなし。		
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	肺、呼吸器官の刺激。		
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	臓器の障害、肺、皮膚。		
吸引性呼吸器有害性	データなし。		

11.環境影響情報

環境影響データ

成分	試験結果
Nitorillotriethanol(CAS102-71-6)	EC50 ミジンコ 565.2-658.3mg/l 48 時間
	LC50 ファットヘッドミノウ 10610-13010mg/l 96 時間
酸化アルミニウム (1344-28-1)	NOEC trout family 100mg/l 96 時間
	NOEC ミジンコ 100mg/l 48 時間
	NOEC 藻 100mg/l 72 時間
生態毒性	データなし。
残留性/分解性	データなし。

土壌中の移動性 水に混和性あり。

12.廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い処分する。

汚染容器及び包装 空の容器はリサイクル又は廃棄のため、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の排気規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。

13.輸送上の注意

国際規制 IATA 危険物に該当しない。

IMDG 危険物に該当しない。

国内規制 14章の規制に従う。

14.適用法令

労働安全衛生法

特化則 第一類物質 該当せず。 第二類物質 該当せず。 第三類物質 該当せず。

有機則 第一種有機溶剤 該当せず。 第二種 該当せず。 第三種 該当せず。

通知対象物 酸化アルミニウム 0-20% トリエタノールアミン 0-1.0%

表示対象物 該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物 該当せず。

毒物 該当せず。

劇物 該当せず。

化学物質の審査及び製造などの規制に関する法律

第一種特定化学物質 該当せず。

第二種特定化学物質 該当せず。

監視化学物質 該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質 該当せず。

第一種指定化学物質 該当せず。

第二種指定化学物質 該当せず。

消防法 該当せず。

船舶安全法・危険規則 該当せず。

航空法・施行規則 該当せず。

火薬類取締法 該当せず。

高压ガス保安法 該当せず。

海洋汚染防止法 トリエタノールアミン Z類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 該当せず。

化学兵器禁止法 トリエタノールアミン 3

15.その他の情報

引用文献 JIS Z7250 2005 化学物質安全データシート

日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン

IARC 発癌性評価モノグラフ

日本産業衛生学会、許容濃度などの勧告

この製品安全データシートは JIS7250 : 2005 に従って作成された。

シート情報は、現在入手できる可能な知識と経験に基づき記入されています。

発行日 2016/6/1